

# 鈴の音



発行

社会福祉法人カリタスの園小百合の寮

〒167-0021 東京都杉並区井草 4-19-28

Tel 03-3394-2451 FAX 03-3394-2453

<http://www.m-caritas.jp/sayuri>

社会福祉法人「カリタスの園」の母体である「イエスのカリタス修道女会」の創立者アントニオ・カヴォリ師は、1926年にサレジオ会の宣教師の一員としてイタリアから来日されました。その当時は、身寄りのない老人や、乳幼児、病人、生活困窮者で溢れていました。この実情に心を痛めた創立者は、彼らを世話する信徒を集め活動を開始しました。1932年には、老人のための「松の寮」を建て、その後、母国イタリアで募金活動を行い、その資金で1935年に、育児部「竹の寮」、「桃の寮」、「すみれの寮」と、地域の必要に対応した総合福祉施設が完成しました。

時を経て、1954年には、「小百合の寮」が定員20名で認可されましたが、それに先立って、創立者に施設の名前を相談したところ、“小さな百合”と言われたので、「小百合の寮」と名付けられました。小百合の寮の命名者はアントニオ・カヴォリ神父様です。(初期会員より)その後、1956年には、奄美大島に、児童養護施設として「白百合の寮」が設立されました。創立者は、子供たちが百合の花のように清く育つことを望んでおられたのでしょうか。

カヴォリ神父様は、寮の子どもたちを大変かわいがり、！ファーザー！と呼ばれ親しまれていました。中でも、出身者の事には、殊の外、思いを寄せられ、彼らのために毎日祈ることを会員たちに強く望まれました。私たちカリタス会員は、この望みに応えて毎日“出身者のために”との熱い思いをこめて聖母マリア様のご保護、取りつぎを願っています。

創立63年を迎えた当施設は、今年も恒例の「ひまわりの会」が6月の最終日曜日に行われます。出身者の皆さんが集い子どもたちや、職員との楽しいひと時を過ごし、親睦を深めています。

出身者の皆さんは、カリタスの園の一員として、更に、「イエスのカリタス修道女会」という大きな家族の大切な存在として受け止められています。皆さんがいつでも帰って来られる場、心の寄り所、ふる里となりますように体制を整えているところです。

私たちは皆、カリタス・ファミリーの輪の中に所属していることを意識し、お互いに支え合っていける家族であることを確認したいと思います。

施設長 橋口 暁子

## 小百合の寮 ファミリー

